

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 3. 25

下水道機構の『新技術情報』 第85号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

機構ビルの前を神田川が流れているのですが、今朝は、桜の花びらで川面が薄ピンク色に♪今年、桜の開花が早いですね。週末は慌ててお花見をされた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第85号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

・3/14(木)の技術サロンは環境省大臣官房廃棄物対策課の岩崎補佐をお迎えして開催しました

・3/7(木)に開催した平成24年度第3回技術委員会の審議結果の概要について、先週号に引き続き紹介します

##### ■機構の動き

・今週は、3/26(火)に第5審査証明委員会を、3/27(水)に理事会、評議員会を、3/28(木)に津波シミュレーション利活用検討委員会を、3/29(金)に新技術研究成果証明書交付式を開催します

##### ■Tea Break

・花見で卒業(研究第一部 土手研究員からの投稿です)

##### ■まる子のゆいまーる♪

・千葉県佐倉市の「自転車の彼」さんから『春』が届きました！

##### ■国からの情報

・3月21日及び3月19日付号外下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●3/14(木)の技術サロンは環境省大臣官房廃棄物対策課の岩崎補佐をお迎えして開催しました

テーマは、「放射性物質を含む下水汚泥の対応について」でした。週に数回福島を訪れることもあるという岩崎補佐。当日は、下水汚泥に係るこれまでの経緯、汚泥の保管状況、法律による処理の枠組みや現在の取り組み状況等についてお話をいただきました。当日の資料は、来月には、専用サイトに掲載する予定ですので、サイト登録者をご覧ください。

さて、次回の第314回技術サロンは、4月11日の木曜日です。17:00からの1時間。ゲストには東京都下水道局の新谷計画課長をお迎えして、東京都の「経営計画2013」について話題提供いただく予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしています！

お申し込みはこちらまで→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-314.htm>

●3/7(木)に開催した平成24年度第3回技術委員会の審議結果の概要について、先週号に引き続き紹介します。

#### 【終了テーマ】

##### (4)「雨水吐口付近に設置可能なコンパクトな合流改善技術に関する実用化研究」

本研究は、東京都との共同研究であり、自然排水区の雨水吐口に適用可能な合流改善対策技術として、コンパクトな高速ろ過システムの実用化を目的としたものです。技術委員会では、終了案件としてBODやSSの除去率等の評価結果や対策効果等について審議され、下水道事業の効率的な執行を図るため、今後導入するに適するものと認められました。

##### (5)「シールド切替型推進工法の技術に関する共同研究」

本研究は、デュアルシールド工法協会との共同研究であり、シールド切替型推進工法について適用範囲を明確にするとともに、分かりやすい選定フローを定めることや、推進管とセグメントの仕様等の技術的課題の抽出・整理を行い解決策を検討し、それらの成果を技術資料にとりまとめるものです。技術委員会では、終了案件として本工法の経済性の検討および工法選定フローの考え方等が審議され、所定の成果が確認されました。

#### 【継続テーマ】

##### (6)「大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのありかたと構築方法に関する共同研究」

本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の6者で実施している共同研究で、今後大規模災害が起きた際に、情報システムを活用することで下水道の早期機能回復を計る手法について検討を行います。本委員会では、早期機能回復に必要な情報及びシステムのあり方について、被災地へのヒアリングを踏まえて検討した結果を報告し、本研究に対する方針や要望について活発な議論が行われました。

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

◎3/26(火) 14:00~16:20 場所: 機構8階特別会議室

平成 24 年度第 3-2 回 第 5 審査証明委員会

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）における「浮上型チェーンフライント式汚泥かき寄せ機」の追加試験結果報告、および質疑応答、報告書の審議

◎3/27(水) 11:00～ 場所：機構 8 階特別会議室

理事会 議案：H24 年度収支補正予算案等

◎3/27(木) 14:00～ 場所：機構 8 階特別会議室

評議員会 議案：新公益法人への移行関連等

◎3/28(木) 10:00～12:00 場所：機構 8 階中会議室

平成 24 年度第 4 回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

議題：マニュアルについての審議

◎3/29(金) 10:00～12:00 場所：機構 8 階中会議室

平成 24 年度 新技術研究成果証明書交付式

内容：民間との共同研究 4 技術への証明書の交付

---

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

---

●花見で卒業（研究第一部 土手研究員からの投稿です）

先日、出向元の上司のお宅に花見に招いて頂きました。上司宅の新築マンションから見る 5 本の桜はほぼ満開で、大変感慨深いものでした。関東甲信の今年の桜は去年より 10 日くらい早く咲き、東京では 16 日に過去最早タイで開花し 22 日に満開。今冬の冷え込みにより、桜の花芽がスムーズに休眠から覚めたとのこと。

さて、その上司宅からの美しい桜を見ながら思い出したことは、2 年前に一面の瓦礫の中に咲く 1 本の桜でした。下水道機構の被災地調査として釜石市の浄化センターを訪れた際、言葉に出来ない、これまでに感じたことのない衝撃を受けたことを今でも覚えています。そのようなことを思い出しながら、下水道機構での 2 年 7 カ月の出向生活も今週末で終わりです。下水道機構は国、自治体、様々な職種の民間企業が集まる、多様性に富んだ組織です。着任当初、下水道の知識の乏しい私に暖かく厳しく接して頂いた諸先輩方、仲間達には本当に感謝しています。また、業務を通じて多くの国・自治体及び民間企業の方々からも多大なご指導を頂き、下水道マンとしてだけでなく、社会人としても成長させていただきました。

4 月からは心機一転、出向元の民間企業で下水道業界の発展の一翼を担えるよう頑張りたいと存じます！

---

。○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

。○。

---

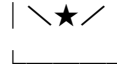
●千葉県佐倉市の「自転車の彼」さんから『春』が届きました！

詳しくはこちら→

[http://www.jiwet.jp/mailmaga\\_yuimaru/staff-info/spring20130325.pdf](http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/spring20130325.pdf)

\*\*\*\*  
皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



[jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、  
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

\*\*\*\*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2013.3.21 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



今日は少し寒く感じますが、しばらく暖かい（暑いくらい？）日が続いております。東京でも、随分早い桜の開花宣言があったと思ったら、一気に開花が進んでいるようです。先日、皇居のまわりを通りましたら、お花見もできそうな勢いです。その昔（係長の頃）、課のお花見をそこでやった記憶がありますが（4月）、今年は、今週末には見ごろを迎えてしまいそうです。さて、送別会でお花見というところもありますでしょうか・・・。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○バーレーン王国との下水道分野における協力覚書の調印について【下水道企画課】

○第 1 回 下水道の事業運営のあり方に関する検討会の開催について

【下水道事業課】

○「社会資本メンテナンス戦略小委員会」中間とりまとめに関する意見募集について

【下水道事業課】

●被災地復興支援に携わる下水道職員がテレビで紹介されます！【日本下水道新聞】

=====

○バーレーン王国との下水道分野における協力覚書の調印について【下水道企画課】

3月21日（木）、国土交通省とバーレーン王国公共事業省との間で、下水道分野における協力の緊密化を目的として協力覚書の調印をいたしました。バーレーン王国の下水道事業及びトゥブリ湾の環境改善やノウハウの移転、研修その他を含む両省の協働諮問事業を想定し、両国の協働作業委員会を設立して、協議により連携を図ってい

きます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07\\_hh\\_000248.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000248.html)

○第1回 下水道の事業運営のあり方に関する検討会の開催について

【下水道事業課】

持続的な下水道事業の実現に向け、下水道管理者の職員が果たすべき役割や下水道管理者の組織体制の強化・効率化の方策等下水道の事業運営のあり方について検討するため、「下水道の事業運営のあり方に関する検討会」を設置し、第1回検討会を22日（金）に開催いたします。会議の傍聴につきましては、既に締め切っておりますが、検討会終了後、議事概要等につきまして公表する予定です。その際は、改めてお知らせ致します。

○「社会資本メンテナンス戦略小委員会」中間とりまとめに関する意見募集について

【下水道事業課】

7月に社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会に「社会資本メンテナンス戦略小委員会」が設置され、今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について検討が進められました。今般、維持管理・更新に関する現状と課題を踏まえ、今後目指すべき戦略的維持管理・更新に関する基本的考え方等についてまとめた中間とりまとめが作成されたことから、広く国民の皆様からご意見をお聴きするため、意見を募集しておりますので、お知らせします。意見募集期間は、4月1日（月）までとなっています。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000046.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000046.html)

●被災地復興支援に携わる下水道職員がテレビで紹介されます！【日本下水道新聞】

東日本大震災で甚大は被害を受けた岩手県野田村の復興むらづくり推進課で東京都の支援派遣職員として働く三ヶ森（みかもり）善智さん。三ヶ森さんは岩手県二戸市の下水道課に長く在職し、国交省の下水道クイックプロジェクト社会実験にも参画されるなど、全国に先駆けて先進的な取り組みを先導されて来ました。三ヶ森さんは二戸市を退職し、東京都の任期付き支援派遣職員として採用され、野田村に長期派遣されています。三ヶ森さんの仕事ぶりがテレビで紹介されます。三ヶ森さんをはじめ多くの支援職員の皆さんが被災地で活躍されています。支援職員の皆さんとともに力を合わせ、下水道界を挙げて被災地復興に向けて全力をあげて取り組んで参りましょう！

・MXテレビ「どうする東京」（東京ローカル）

「共に歩む 復興支援の現場から」

放送予定：3月23日（土）21:00～21:30

3月24日（日）11:30～12:00

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。



初めての水関連施設の見学になるそうです。是非ご覧いただき、みんなで横山さんを応援しましょう！

● 「しが水環境ビジネスキックオフセミナー」を開催します。【滋賀県】

滋賀県は、環境ビジネスの展開を図るための官民連携のプラットフォーム「しが水環境ビジネス推進フォーラム」を設立します。3月25日には、フォーラム設立に合わせた「しが水環境ビジネスキックオフセミナー」を開催します。

滋賀県には、水処理膜をはじめとする水環境関連の産業や研究機関が集積しています。また、県民も参加した琵琶湖での水環境保全の取り組みの経験も強みのひとつで、「水ビジネス」ではなく「水環境ビジネス」としていることが滋賀県の特徴です。

本セミナーでは、水環境の総合エンジニアリング企業の取り組み、官民連携による水ビジネスの海外展開事例、フォーラムの今後の活動内容などが紹介され、水環境ビジネスを展開する参加企業等の交流促進に向けた交流会も実施されます。

またセミナーでは、「中国・湖南省での下水処理技術支援とビジネス展開について」と題した講演が行われます。これは、本県がJICA「草の根協力事業」として実施予定の中国湖南省（長沙市、株洲市）における下水処理場の運転管理能力の向上、市民の環境意識の向上（特に下水道の使用に関する普及啓発）を目的とした技術協力事業と、これをきっかけとした県内企業の同省におけるビジネス展開の可能性について紹介するもので、JICA 専門家として中国の汚水処理の状況をよく知る本県下水道課職員が講演します。湖南省では、既に130あまりの都市汚水処理場が建設されていますが、技術者不足や、油の処理など市民への普及啓発が課題となっています。本県と湖南省は友好関係締結30周年を迎えることから、種々のイベントが計画されていますが、本事業はその中の「目玉」として期待されています。

セミナーの場所、プログラム等は下記のとおりです。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/shokokanko/mizukankyobusiness/130325seminar.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

---

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部  
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F  
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>

